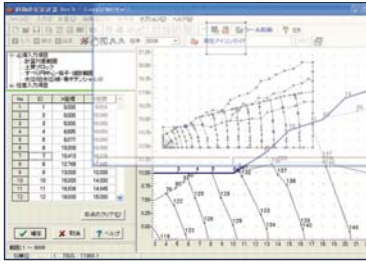
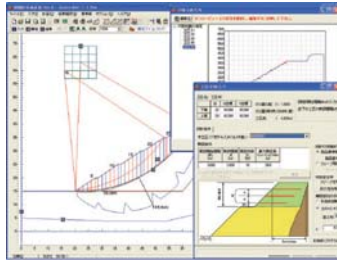


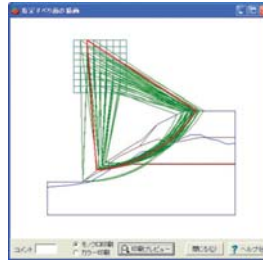
▼形状・属性入力(モデルビューワ)



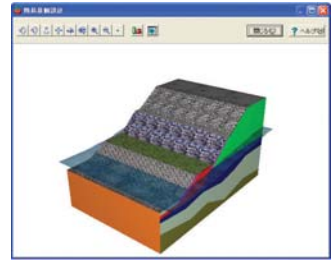
▼ジオテキスタイル補強盛土工法



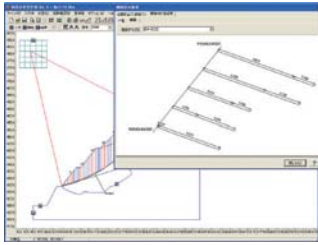
▼複数すべり面の同時描画



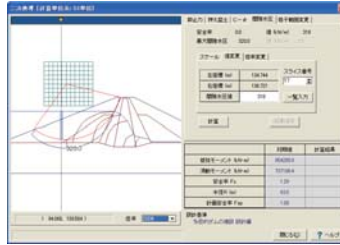
▼簡易景観設計



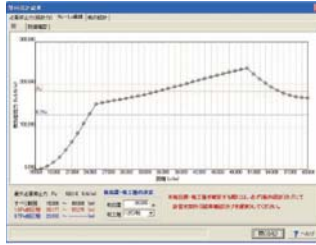
▼切土補強土工法



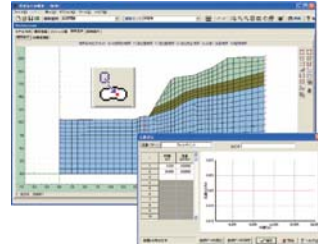
▼二次処理一間隙水圧変更画面



▼杭工Ru-Lx曲線出力



▼点源より揚水をシミュレート



適用基準・参考文献

1. 道路土工要綱 H21年6月 日本道路協会
2. 道路土工 切土工・斜面安定工指針 H21年6月 日本道路協会
3. 道路土工のり面工・斜面安定工指針 H11年3月 日本道路協会
4. 道路土工 軟弱地盤対策工指針 H24年8月 日本道路協会
5. 設計要領第一集 土工編 H24年7月 東・中・西日本高速道路
6. 鉄道構造物等設計標準・同解説 土構造物 H19年1月 鉄道総合研究所
7. 鉄道構造物等設計標準・同解説 耐震設計 H24年9月 鉄道総合研究所
8. 宅地耐震設計指針(案) S59年3月 住宅・都市整備公団都市開発事業部
9. 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年4月/H19年9月 日本港湾協会
10. 建設省河川砂防技術基準(案) 設計編 [II] H9年10月 日本河川協会編
11. 建設省河川砂防技術基準(案) 設計編 [I] H9年10月 日本河川協会編
12. 多目的ダムの建設 設計編 S62年 ダム技術センター
13. 第二次改訂ダム設計基準 1978年8月 日本ダム会議
14. 土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」技術書(フィルダム編)/基準書 技術書(共通編) H15年4月 農林水産省農林振興局
15. 土地改良事業計画設計基準 計画「農地地すべり防止対策」 H16年3月 農林水産省農林振興局計画部資源開発課
16. 土地改良事業設計指針 [ため地整備]
17. H18年2月 農林水産省農林振興局整備部設計課
18. 土地改良施設 耐震設計の手引き H16年3月 農林水産省農林振興局整備部設計課
19. 防災調節池等技術基準(案) H13年8月 日本河川協会
20. 河川堤防堤防の構造検討の手引き H24年2月 国土技術研究センター
21. 中小河川における堤防点検・対策の手引き(案) H16年11月 国土技術研究センター
22. 高規格堤防盛土工法マニュアル H12年3月 リバーポート整備センター
23. 新版 地すべり鋼管杭設計要領 2003年6月 地すべり対策技術協会
24. 多目的ダムの建設 調査編 S62年 ダム技術センター
25. 貯水池周辺の地すべり調査と対策 2010年12月 国土開発センター
26. 土質工学ハンドブック 第7章(斜面安定) S61年10月 土質工学会
27. 斜面安定解析入門 H13年4月 地盤工学会
28. 港湾構造物設計事例集 H19年3月 沿岸技術研究センター
29. 漁港・漁場の施設の設計の手引き 2003年版 全国漁港漁場協会
30. 漁港・漁場構造物設計計算例 H16年 全国漁港漁場協会
31. 道路標示方書・同解説 V 耐震設計編 H24年3月 日本道路協会
32. H16年2月 建設省土木研究所 耐震技術研究センター動土質研究室
33. 屋外タンク貯蔵所 基礎の規制基準(杭基礎及びリング基礎について) 解説 S58年1月 土木学会監修 危険物技術研究会編
34. ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル 改訂版 H12年2月 土木研究センター
35. グラウンドアンカー工設計指針 H4年11月 日本道路協会
36. グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説 H12年5月 地盤工学会
37. 道路土工 仮設構造物工指針 H11年3月 日本道路協会
38. のり砕工の設計・施工指針 H7年10月、H18年11月 全国特定法面保護協会
39. 切土補強土工法設計・施工指針 H19年1月、H14年7月 東・中・西日本高速道路
40. 道路土工 仮設構造物工指針 H11年3月 日本道路協会
41. 地すべり鋼管杭設計要領 2003年6月、H13年2月 地すべり対策技術協会
42. 砂防・地すべり設計実例 1991年2年 砂防・地すべり技術センター 山海堂
43. フリーフレーム工法設計・施工の手引き H10年7月 フリーフレーム協会
44. EPS工法 発泡スチロール(EPS)を用いた軽量盛土工法 H5年2月 発泡スチロール土木工法開発機構
45. 現場発泡ウレタン超軽量盛土工法 設計・施工マニュアル H20年4月 土木研究センター

共同溝の耐震計算

プログラム価格  
¥192,000

液状化の判定、液状化による浮上り照査、縦断方向の耐震設計を行うプログラム

Windows Vista/7/8 対応  
電子納品

トンネル断面算定

プログラム価格  
¥212,000

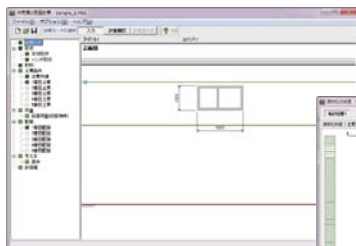
NATMトンネルの設計業務において幾何学的要素で決定される項目の計算を支援

Windows Vista/7/8 対応  
電子納品

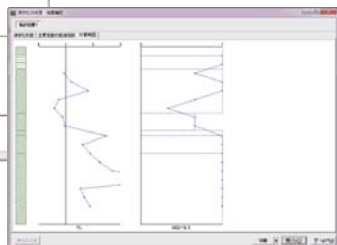
「共同溝設計指針 (S.61.3)」を参考に、地盤の液状化の判定、共同溝の液状化による浮上り照査、共同溝の縦断方向の耐震設計を行うプログラムです。

- 液状化、共同溝の浮上りの検討、共同溝の耐震設計を同時に5ヶ所まで計算
- すべての検討においてレベル1地震時を対象に行います。
- 地盤種別は、特性値から求める方法、当該地盤の地層構造から選択
- 共同溝形状は、3連3階までで各種形状を取り扱うことができます。
- 液状化の判定、液状化による浮上り照査に対応
- 縦断方向の耐震設計：軟弱地盤部、地盤条件変化部についての耐震設計

▼メイン画面



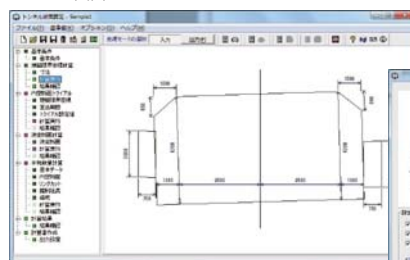
▼結果確認画面



「設計要領 第三集 トンネル編」を主たる適用基準とし、NATMトンネルの設計業務において幾何学的要素で決定される項目の計算を支援するプログラムです。

- 内空断面形状：3心円
- 横断勾配：片勾配、拌み勾配
- 建築限界：歩行空間は、設置無し、右側、左側、両側の何れかを指定可能
- インバート・側壁導坑：設置無し、設置から指定可能
- 内空断面トライアル：横断勾配は、最大3ケースまで指定可能
- 車道部建築限界、歩行空間建築限界、決定断面を、「GeoFEAS2D」で読み込み可能な地盤解析用地形データファイル形式で出力可能

▼メイン画面



▼GeoFEAS2D出力設定画面

